



Title	プログラム相談システムの公開について
Author(s)	磯本, 征雄; 岩川, 雅士
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1976, 21, p. 44-48
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65305">https://hdl.handle.net/11094/65305</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## センターだより

# プログラム相談システムの公開について

研究開発部 磯 本 征 雄

業 務 部 岩 川 雅 士

## I 序

共同利用大型計算機センターには、プログラム相談員がいて、利用者のプログラム・デバッグへの助言を与えております。この時、助言の与え方としては、相談員の経験に頼ることがほとんどであり、場合によって、相談員室におかれたマニュアルなどを参照しています。ところが利用者の水準は、プログラム作成の初心者から、相当訓練を積んだ者まで、広範囲にわたっています。従って当然、質問の内容も広範囲となります。これら利用者全員の1つ1つの質問に対して、個々の相談員が満足のいく助言を与えることは、ほとんど不可能なことです。

そこで、もし、この人間が行っているプログラム相談を、定式化し、機械化できるならば、相談員の過重な負担を軽減し、しかもある程度、各利用者に対して満足のいく助言を与えることができます。

このような構想に基づいて、当大阪大学大型計算機センターでは、プログラム相談のためのシステム開発にとりくみ、プログラム相談システム (ADVISER) を完成いたしました。

本システムは、T. S. S の機能を用い、会話型で使用できます。FORTRAN プログラム実行中に起こった諸々の障害について、その障害のコード番号を入力することにより、システムからの助言が得られます。詳しいシステムの使用方法はⅡ、プログラム相談システム仕様を参照してください。

なお、このシステムはデータの不備など、まだ多くの問題点が残っており、52年3月31日までを試用期間として利用者の方々に御協力を頂きたく、下記の条件がかなえば、このシステムの利用に対して課金しないことにしております。条件についてはⅢ、プログラム相談システム利用ジョブ課金免除についてを参照してください。

## Ⅱ プログラム相談システム仕様

本システムは、プログラム・デバッグの際のバグ追跡の過程に対して助言を行うためのものです。デバッグについて助言の必要な人は、T. S. S により使用することがで

きます。以下本システムの利用法について説明します。

- ・ 本システムの始動

一般の会話と同様にHELLOコマンドから始めてください。グループ・コード及びユーザー・ネームは下記の通り入力してください。その後システムをSTARTコマンドによって始動させます。

\*HELLO LIB,USER,,JJJJJJJJJJ

\*START ADVISER

(備考) 本システムはユーザー・プログラムとして作動します。従って複数端末から同時にはアクセスできませんので御了承下さい。

- ・ システムと利用者の対話

1. \*\*\* コート\* ハンコウ リスト オ シュツリョク シマスカ \*\*\*  
\*\*\* ENTER YES OR NO \*\*\*

本システムでは、質問内容の入力を質問コード番号により行います。質問コード番号とは、システム側であらかじめ用意している個々の質問事項につけられた認識番号のことです。

ここでは、質問コード番号表を出力するかどうかの入力を要求します。コード番号表が必要であるならば YES を入力してください。以下システムの指示に従って必要な情報を入力すればコード番号表が出力されます。質問コード番号リストが不要な場合には NOを入力してください。システムはすぐにプログラム相談に入ります。

2. \*\*\* プログラム ソウタン オ ツツケマスカ \*\*\*  
\*\*\* ENTER YES OR NO \*\*\*

1.で YES を入力し、コード番号表を出力した後出力されます。プログラム相談を続けて行うのであれば YES を、やめるのであれば NOを入力してください。

3. \*\*\* シツモン CODE ハンコウ オ 4-ケタ ノ セイスウ デ ニユウリョク  
シテクダサイ \*\*\*  
(CODE ハンコウ ノ ワカラナイ ハ アイ ハ 1000 オ ニユウリョク  
シテクダサイ.)

1 で出力したコード番号表よりあなたのプログラム中で起こった現象がどれであるかを選択し、入力してください。1000が入力された場合、13個の質問がなされます。質問に対して YES ならば5を、NOならば0を入力してください。YES 又は NO の判定が困難ならば YES の強度に比例して、4～1の数字を入力してください。

4. == ニュウリョク サレマシタ CODE ハンコウ ハ ワカリマシタ。 ==

(1) { \*\* アナタ ノ シツモン ニ カンケイ ノ アルコト オ ファイル カラ トリタシマス \*\*  
 \*\* アナタ ノ シツモン ニ カンレンスル シゴウ ノ チュウシユツ オ カンリョウ シマシタ \*\*  
 \*\* アナタ ノ シツモン ニ カンケイノ アルコトニツイテ ソレハ ノ カンケイ オ シラヘ  
 マス \*\*

(2) { ツキニ シメス ファンシヨウ ハ アナタ ノ シツモン ニ タイスル カイトウ ニ ナツテ イマスカ。  
 (ウエカラ シユン ニ テキトウナ セツゾクシ オ ツゲテ ヨンデ クタサイ)

(1)がシステムから出力された後、(2)が出力されます。これにつづく一連の文章は、あなたの質問に対するシステムの助言です。一行ごとに一つの文節を成し、個々の文節ごとに、あなたの直面している状況との一致 (YES) または不一致 (NO) を判断してください。

5. \*\*\* アナタ ノ ハンタマン オ ニュウリョク シテクタサイ。 \*\*

この前に出力された文節について判断し、次の形式で入力してください。

アテハマツテイル ファン テ アレハ YLL  
 アテハマラナイ ファン テ アレハ NLL  
 マツタウ ワカラナイ ハアイ ハ D  
 ケンサク オ チュウシ スル ハアイ ハ S  
 センコ ノ カンケイ オ シラヘタイ ハアイ ハ G  
 モウイチト ハシメカラ ヤリナオシタイ ハアイ ハ R  
 オ ニュウリョク シテクタサイ タタシ LL ハ セツメイ ファン ノ ハシメ ニ ツケラレタ  
 カツコ ナイ ノ 2-ゲタ ノ セイスウ テス。

6. ----- ケンサク オ ツツケマス -----

入力された判断に従って、システムは直面している状況を再検討します。再び 4 - (2)へもどります。

7. -----

オツカレサマ デシタ。  
 サイコ ニ シメサレタ カイトウファンシヨ オ モツテ アナタ ノ シツモン ハノ カイトウ ト  
 イタシマス。

MAN, MACHINE の応答によって助言が終了すると出力されます。

8. \* シツモン 1 \*
- |   |   |
|---|---|
| サイコニ シメシタ ファンショウ ハ アナタ ノ シツモン ニ タタシク コタエテ イマスカ。 |   |
| タタシク セツメイ シテイレハ                                 | Y |
| マチカ ツタ セツメイ ナラハ                                 | N |
| ヨク ハ ワカラナイ ナラハ                                  | D |
| オ ニユウリヨク シテクダサイ。                                |   |

\* シツモン 2 \*

ココデ オコナツタ ソウダン ニ ツイテ クシヨウ ソノタ コイケン カ アリマシタラ  
オキカセ クダサイ  
ノチホト ケントウ シマシテ、SYSTEM ノ カイセン ニ ヤクダテマス。  
サイコ ノ キヨウ ハ END ノミ オ ニユウリヨク シテ クダサイ。  
(コイケン ノ ナイ ハ アイ ハ END ノミ オ ニユウリヨク シテ クダサイ)

システムが出力します。シツモン1についてはY, N, Dのいずれかを入力してください。シツモン2については後々の改善作業のための資料としたいと思っておりますので、気のついたことを入力してください。書式に制限はありません。

9. \_\_\_\_\_  
コクロウ サマ デシタ。  
\_\_\_\_\_

===== シツモン ハノ カイトウ ハ スヘテ オウリマシタ =====

\*\* アラタニ シツモン オ サイカイ シマスカ \*\*

プログラム相談を続けるか、やめるかを入力してください。続ける場合はCONTINUEを、やめる場合はENDを入力します。

なお、システム側から情報入力を要求してきた時、入力書式がわからない場合は、\*を入力してください。入力書式について詳しく説明されます。

### Ⅲ プログラム相談システム試用ジョブ課金免除について

1. 試用期間 昭和52年3月31日まで
2. 条件 (1) あらかじめ下記連絡先へ試用申請を行うこと。  
試用申請書に記入すべき事項は次のものとする。(書式は自由)
  1. 所属, 連絡先(電話番号)
  2. 氏名
  3. 計算機利用申請における課題番号
  4. 本システム試用の目的と方法

(2) HELLO コマンドからはじまって BYE コマンドで終了し、これが一連のコンソール・シートとしてつながっていること。

(3) HELLO コマンドと BYE コマンドの間で、プログラム相談システム以外のジョブを実行していないこと。

利用者諸氏の御協力をお願いいたします。

連絡先 大阪大学大型計算機センター・研究開発部

磯 本 征 雄

(内線) 2833, 2836

業 務 掛

岩 川 雅 士

(内線) 2835, 2823